

Softfront Report

2013年3月期 第2四半期累計期間

(2012年4月1日～9月30日)

トップメッセージ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2013年3月期第2四半期の決算についてご報告いたします。

当第2四半期累計期間(2012年4月1日～9月30日)の業績は、売上高216百万円、営業損失115百万円、経常損失115百万円、四半期純損失116百万円となりました。

当期は、「ライセンスビジネスの成功」に向けた中期経営方針に基づき、「収益基盤拡大」と「黒字体質への転換」の課題に対して、前年に引き続き、安定した収益を確保できる事業分野の創出・拡大と業績変動に対応した柔軟な費用構造への転換に取り組んでおります。

また、当社は、2012年9月11日をもちまして、大阪証券取引所ナスダック・ジャパン市場(現JASDAQ)株式上場10周年を迎えることができました。これもひとえに、皆様の変わらぬご支援の賜物と、心から感謝いたしております。

事業面では、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の「ひかり電話」に対応したスマートフォン/タブレット向けIP電話&テレビ電話アプリ「LivyTalk」のiOS版の提供開始や、デジタルポスト社のサイトリニューアル等の成果を出すことができました。しかしながら、業績数値面では、国内電機メーカー向けの受注の落ち込みを補うには十分な結果を出せず、売上高は前年同期実績に比較して減収となりました。

今後の見通しに関しては、国内電機メーカーの不振や長期化する円高や消費低迷にある国内の経済動向など、厳しい環境ではありますが、中期経営方針のもと、通期業績予想の達成に向け、全力をあげて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げるとともに、今後ともご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

2012年10月26日
代表取締役社長

阪口克彦

営業概況

当第2四半期累計期間(2012年4月1日～9月30日)の当社を取りまく環境としましては、当社事業に係る通信関連分野において、スマートフォン/タブレット端末の普及、高速通信を可能とするLTE (Long Term Evolution)や無線でインターネットに接続できるWi-Fiの技術を利用したサービスの拡大、NGN (Next Generation Network)でのサービスや商品の拡充などに進展が見られました。一方、当社事業と関連する国内大手電機メーカ各社の厳しい状況は続いており、長期化する円高や欧州債務問題などの不透明感、さらには、韓国、中国との領土問題をめぐる日本経済への影響等、予断を許さない状況が続いております。

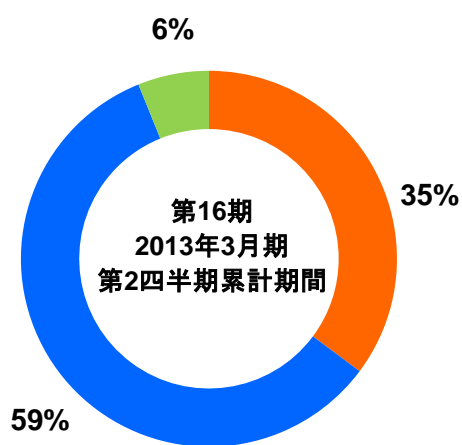
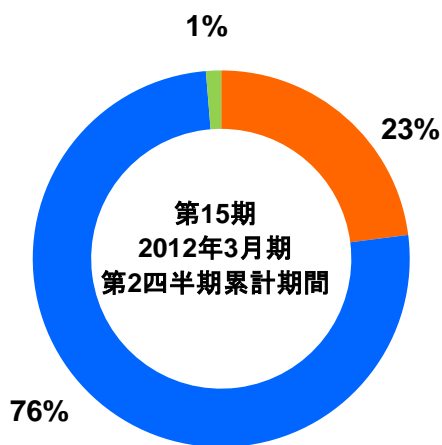
このような環境の下、当社におきましては、NTTグループとの業務・資本提携を背景としたNGN関連分野、スマートフォン/タブレット端末向けIP電話&テレビ電話アプリ「LivyTalk」のiOS版の提供などを行いました。また、デジタルポスト関連事業では、サイトリニューアルの開発などを行いました。しかし、これらの活動では、電機メーカ向けの受注の落ち込みを補うには十分な結果を出せず、売上高216,624千円、営業損失115,417千円、経常損失115,229千円となっております。

売上高につきましては、216,624千円(前年同期比39.1%減)と前年同期実績を139,318千円下回りました。売上原価につきましては、外注費の減少、将来の売上に資する製品開発へのリソース投入、また、『黒字体質の確保』の重点課題である「さらなる稼働管理」および「経費管理」に積極的に対処したことなどにより、121,398千円(前年同期比45.0%減)と減少しております。この結果、売上原価は減少したものの、売上高が減少したため、売上総利益につきましては、95,226千円(前年同期比29.6%減)と前年同期実績を40,016千円下回りました。また、販売費及び一般管理費につきましては、全般的な経費削減を行ったことなどにより、210,643千円(前年同期比1.0%減)と減少いたしました。

2013年3月期通期業績予想の達成に向け、NTTグループ関連、電力系通信事業者関連、複写機メーカ関連などの、これまで当社が得意としてきた事業をさらに推し進めるとともに、デジタルポスト関連事業のような、これまでの当社事業とは異なる分野への取り組みを進め、安定的な収益の確保に努めてまいります。

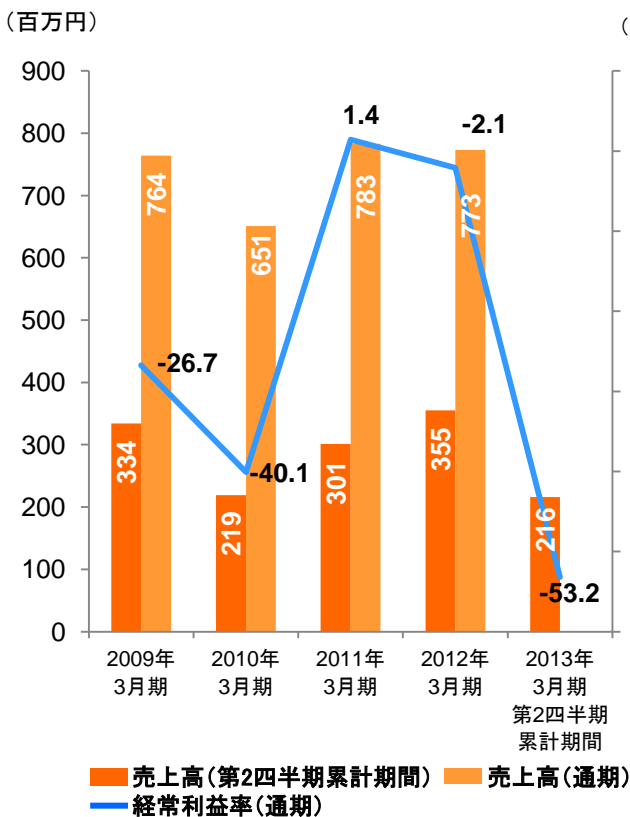
財務ハイライトー1

売上高の構成

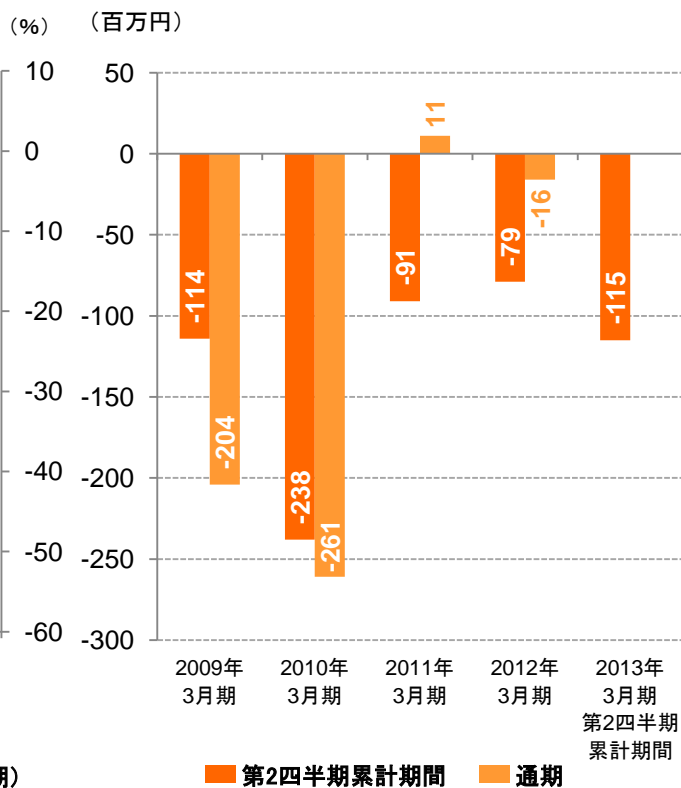


ソフトウェア販売 受託開発 その他

売上高／経常利益率



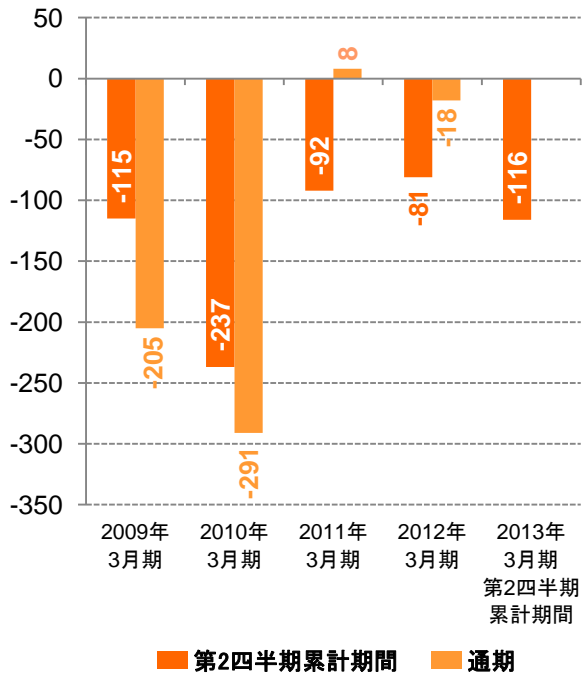
経常損益推移



財務ハイライト-2

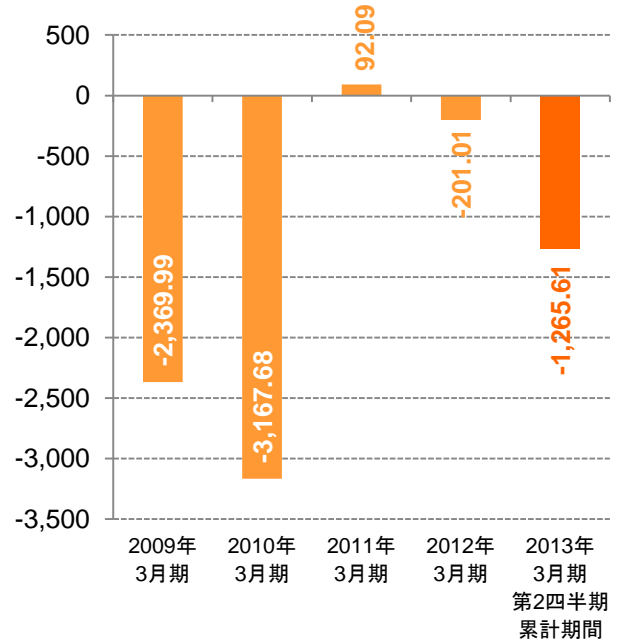
純損益推移

(百万円)



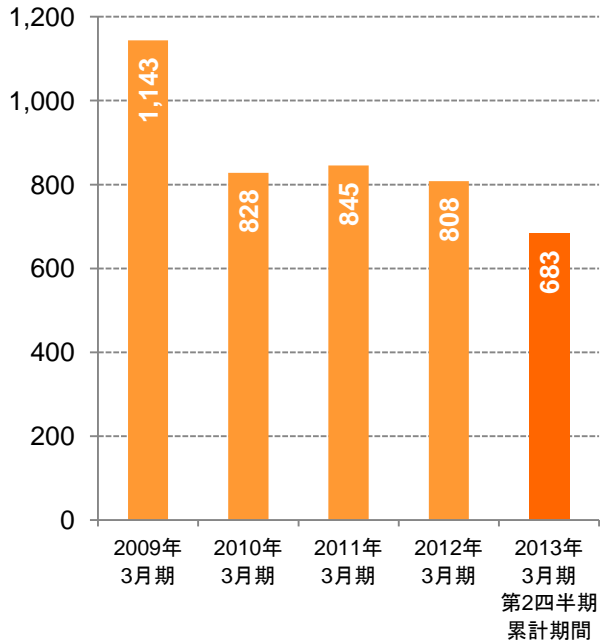
1株当たり純損益

(円)



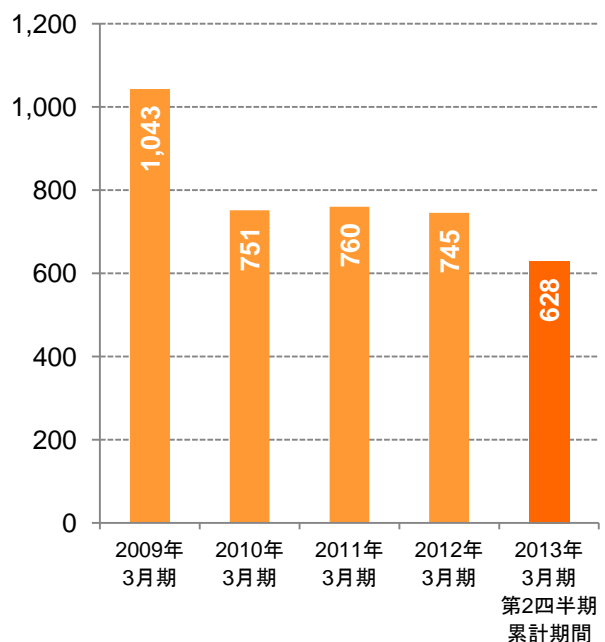
総資産

(百万円)



純資産

(百万円)



財務諸表

■ 四半期貸借対照表

	当第2四半期 会計期間末 2012年9月30日	前第2四半期 会計期間末 2011年9月30日	前事業年度末 2012年3月31日
(単位:千円)			
資産の部			
I 流動資産	430,673	572,445	605,448
II 固定資産	252,842	177,141	202,688
有形固定資産	9,578	13,522	11,990
無形固定資産	161,481	111,886	138,915
投資その他の資産	81,782	51,732	51,782
資産合計	683,515	749,586	808,136
負債の部			
I 流動負債	54,656	67,264	62,725
負債合計	54,656	67,264	62,725
純資産の部			
I 株主資本	625,248	678,970	741,687
資本金	2,792,479	2,792,479	2,792,479
資本剰余金	2,574,639	2,574,639	2,574,639
利益剰余金	△4,741,870	△4,688,148	△4,625,431
II 新株予約権	3,610	3,351	3,723
純資産合計	628,858	682,322	745,411
負債純資産合計	683,515	749,586	808,136

財務諸表

■ 四半期損益計算書

	当第2四半期 累計期間 2012年4月 1日 - 9月30日	前第2四半期 累計期間 2011年4月 1日 - 9月30日	前事業年度 2011年4月 1日 - 2012年3月31日
(単位:千円)			
I 売上高	216,624	355,943	773,205
売上原価	121,398	220,700	399,000
II 売上総利益	95,226	135,242	374,205
販管費及び一般管理費	210,643	212,743	387,787
III 営業損益	△115,417	△77,500	△13,582
営業外収益	211	27	64
営業外費用	22	2,526	2,555
IV 経常損益	△115,229	△79,999	△16,073
特別利益	—	—	—
特別損失	—	—	—
V 税引前四半期(当期)純損益	△115,229	△79,999	△16,073
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,210	2,420
VI 四半期(当期)純損益	△116,439	△81,209	△18,493

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

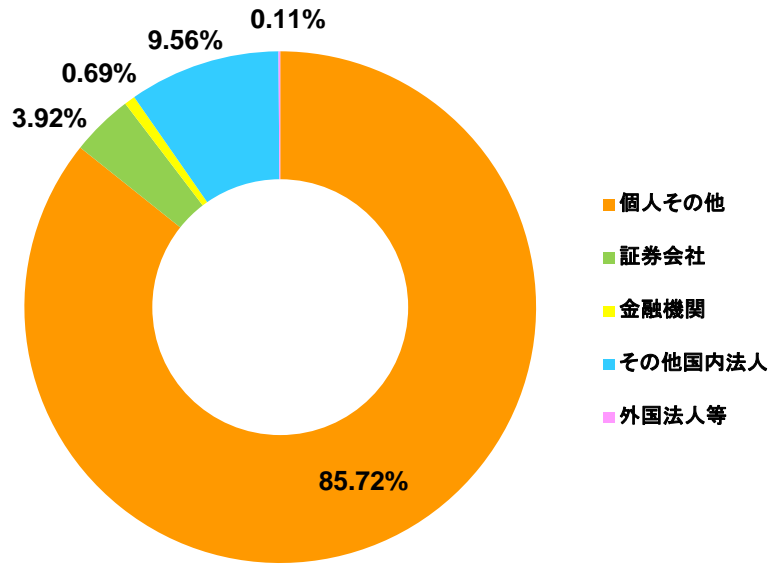
	当第2四半期 累計期間 2012年4月 1日 - 9月30日	前第2四半期 累計期間 2011年4月 1日 - 9月30日	前事業年度 2011年4月 1日 - 2012年3月31日
(単位:千円)			
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	83,574	32,720	128,542
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,858	△43,496	△103,524
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	—	1,351	1,228
IV 現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	△5,283	△9,424	26,246
V 現金及び現金同等物の期首残高	320,036	293,789	293,789
VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	314,752	284,365	320,036

株式の状況

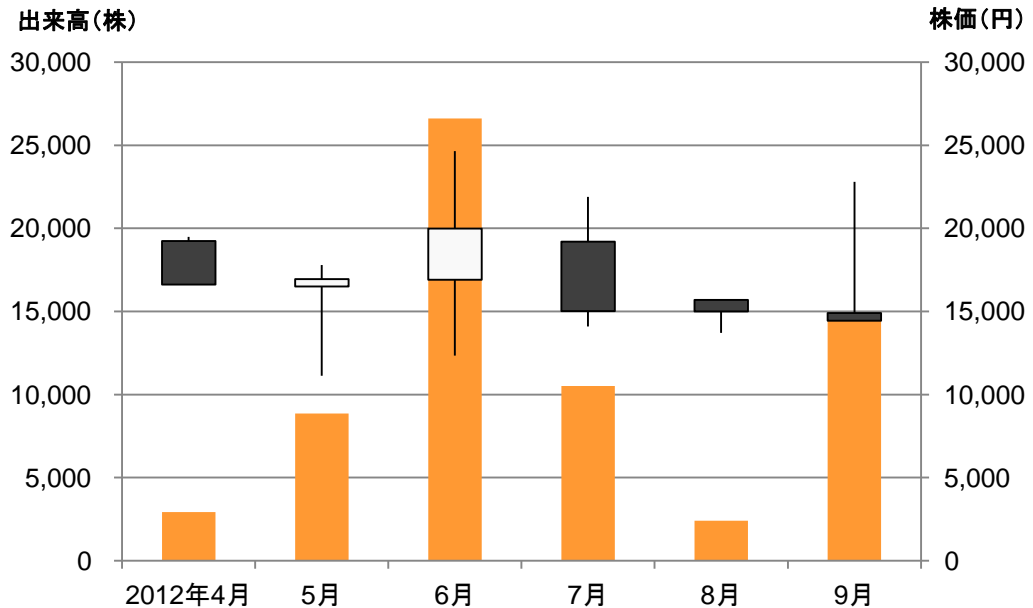
株式の状況

(2012年9月30日現在)

発行可能株式総数 : 324,400株
発行済株式数 : 92,002株
株主数 : 4,402名



株価・出来高推移状況





東京本社

〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目2-19

赤坂SHASTA・EAST 3F

TEL:03-3568-7007 FAX:03-3568-7008

札幌本社

〒060-0009 札幌市中央区北9条西15丁目28-196

札幌ITフロントビル 3F

TEL:011-623-1001 FAX:011-623-1002